

笑顔とがんばりの町

おのまもち

議会だより

第4回定例会

- ◇ 一般会計補正予算(第7号)などを議決
- ◇ 4人の議員が一般質問
(除染計画、行政組織運営、小・中学校統合、公立小野町地方総合病院の整備についてなど)
- ◇ 国に原発の廃炉を求める意見書を提出



第4回定例会 審議風景

除染対策事業費、損壊家屋等解体撤去委託料、及び災害復旧費など平成23年度予算を補正

12月補正予算は、下の表のとおり全員賛成で可決しました。
 収入では、一般会計補正予算において、町税収入1,755万円、国庫支出金、及び県支出金2億4,149万円、町債1億2,680万円などのほか、合計で3億9,388万円の増額補正をしました。

支出では、除染対策事業に8,470万円、大震災に伴う損壊家屋等解体撤去委託料などに1億5,386万円、小野中学校のプール災害復旧工事費に1億4,700万円、農用地等災害復旧工事費に2,000万円などのほか、合計で3億9,388万円の増額補正をしました。

国民健康保険、および介護保険特別会計では、受給見込み等を再計算し調整しました。

水道事業特別会計では支出において石綿セメント管更新事業調査設計委託料に1,102万円、配水管修繕費に77万円の増額補正を行い、収入において石綿セメント管更新事業国庫補助金320万円、他会計負担金77万円の増額補正を行いました。

平成23年12月補正予算

会計区分	補正額	予算総額
一般会計	3億9,388万円	56億6,137万円
国民健康保険	▲520万円	12億6,518万円
介護保険	3,989万円	9億9,654万円
特別会計 水道事業	収益的収入	77万円
	収益的支出	77万円
	資本的収入	320万円
	資本的支出	1,102万円
	927万円	1億790万円

陳情の審査結果

第4回定例会では、1件の継続審査案件を含む2件の陳情を審査しました。結果は次のとおりです。

件名	陳情者	審査結果
保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情	福島県保育連絡会 代表者：大宮勇雄	趣旨採択
福島県内すべての原発の廃炉を求める陳情	新日本婦人の会田村支部 代表者：佐藤瑛子	採択

意見書を総理大臣などに提出

陳情を受け、議員提出議案により意見書を内閣総理大臣、及び経済産業大臣に提出しました。

議案名	提出者	審査結果	提出先
福島県内すべての原発の廃炉を求める意見書	國分喜正議員	全員賛成で可決	内閣総理大臣 経済産業大臣

意見書とは…

「地方公共団体の議会は、公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる(地方自治法第99条)」とされています。民意を国政などに反映する手段として議会に認められている権限です。



▲第4回定例会

第4回定例会

12月8日～13日

平成23年第4回定例会は、12月8日から13日までの6日間の会期で開かれました。会議では、平成23年度各会計補正予算4件、条例改正3件、人事案件1件、議員提出議案2件など10議案を原案のとおり可決しました。

また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたずねました。

公立小野町地方総合病院の改築、及び機能充実に係る要望書を提出

公立小野町地方総合病院の旧館は、震災の影響により現在、利用できない状況となっています。

同病院は、地域医療にとって欠かすことのできない大変重要な施設であることから、小野町議会では、早期の改築整備や機能充実に係る要望書を提出しました。

要望書は、大和田昭議長、佐藤登副議長、村上昭正病院議会議長、石戸浩厚産建委員長、遠藤英信地域医療調査特別委員長が町長室を訪れ、公立病院理事長の穴戸町長に手渡しました。



▲木村美矢子氏

前任者の任期満了に伴い、教育委員会委員に木村美矢子氏を任命したいとして議会の同意を求められたことから、全員一致で任命に同意しました。

教育委員会
委員に
木村美矢子氏

橋本健議員、遠藤英信議員、水野正廣議員、會田隆壽議員が町政各般について質問を行いました。



ウイズウェイスト処分場について

搬入停止後の現状について

問 廃棄物の搬入時と搬入停止後のタイオキシン類等処分場の現況をお伺いしたい。

処分場が廃止になるまで調査を実施

町長 今年三月までの搬入計画が終了し、現在は処分場廃止に向けた運営管理がされ、浸出水の処理と併せ法面の整備、緑化等の工事を進めています。

タイオキシン類の調査については、小野町、いわき市、ウイス社がそれぞれ処分場が廃止になるまで実施いたします。

なお、今年度の第1回目の調査を八月に実施しましたが、基準値を大きく下回っています。その後の調査結果に

ついても、「広報おのまち」で随時、お知らせします。

大震災による影響はなかったか

問 大震災及び余震により、損傷や計器類の異常はなかったか。

被害はありませんでした

町長 処分場の埋立地法面及び周辺において、地割れや崩落等の被害はありませんでした。

また、計器類、機械の損傷もありませんでした。

処分跡地の利用について

問 町では、処分跡地をどのように利用しようとしているのか、伺います。

処分場廃止許可まで目的外利用は不可

町長 県知事の処分場廃止許可が下りるまで、目的外利用は認められていません。

また、廃止許可については、長期間にわたる処分場の保全、浸出水の処理等を行う必要となります。

函館市では跡地をパークゴルフ場として利用しているが

問 函館市では廃棄物処分場の跡地をパークゴルフ場として利用しており、年配の方々の健康増進の場となっている。

わが町の処分場もあのよう



▲函館市のパークゴルフ場

に替えることができないものかと思うが、町長の考えを伺う。

地域福祉の向上等に寄与されることが理想

町長 跡地利用については、処分場廃止許可後は、地域

放射能の除染について

町の除染計画について

問 町は除染に対し、どのような計画を立てておられるのかお聞きします。

皆さんが納得する除染計画を作りたい

町長 除染については、放射性物質汚染対処特別措置法に示される方針により実施する考えであり

ます。

関係機関のアドバイスを受け、議会や町民の皆さんにご相談申し上げながら、皆さんが納得する除染計画を作りたいと考えております。

なお、住宅、学校、保育園、公園や身近な生活環境の除染を優先して実施したいと考えております。

仮置場について

問 除染後の廃棄物の仮置場について、これをクリアしないとおへ進むことができません。仮置場の設置をどうするのか、考えをお示しください。

町長 仮置場は、放射能の遮断対策のほか雨水の侵入を防ぐ対策や、空間線量率、地下水の放射能濃度のモニタリングなどを継続して行うなど安全対策には万全を期して参ります。

仮置場の場所については、旧町村単位に設置することが適当と考えています。

震災復興特区法について

震災復興特区法成立を受けて町の考えは

問 大震災の被災地の復興をめぐり、これらを支援する復興特区法が成立しましたが、町の計画はどのように立て実行するのか、町長の所見を述べていただきたい。

計画策定について積極的に検討したい

町長 この復興特別区域制度については、各種規制・税制上の特例措置や財政上の支援措置により、復興の円滑かつ迅速な推進を図るものであり、有効な手段として考えております。

今後、具体的に示される制度の内容を精査したうえで、計画策定について積極的に検討したい。

公立小野町地方総合病院改築に誘導すべきと思うが

問 千載遇のチャンスであり、その復興資金を公立小



遠藤 英信 議員

町長の政治姿勢と行政組織運営について

町民の不満と苦情への対応について

問 東日本大震災、及び原発事故から九カ月が経った今日、その対応、対策について、町民の皆さんの行政に対する不信感が日に増しています。

町民の不満と苦情の声が町長へどのように伝わり、どう受け止め、どう対応されたか。また、今後どのようにされるのか、伺います。

皆さまの声を真摯にお聞きし、きめ細かな対策を講じたい

町長 町としては、震災当時、大きな混乱の中、町内各施設の被災状況確認と児童生徒等の安否確認、町民の皆様

ラインの状況確認など、全力で初動対応に努めました。

公立病院の被災状況は深刻であり、おおよそ百名の入院患者を抱え、人命も危ぶまれる状況でしたが、病院職員が丸となり、役場からも数十名の職員が支援に入り、安全な場所への患者の搬送や看護、医療機器や薬剤の保全など必死の対応が続きました。

原発事故に伴い、当町において全町避難が危惧される中、他市町村からの避難者を受け入れるとともに、町民の安全に全力を尽くしました。

震災復旧、復興、除染対策、賠償問題など、町民の皆様の声を真摯にお聞きし、きめ細かな対策を講じるよう努めてまいります。

「震災・原発事故対策室」の設置について

問 行政組織としての組織運営と機能発揮の観点から、九月定例会のときに、私をはじめ各議員から「震災・原発事故対策室」の設置などについて質問がございましたが、未だ設置されていません。

その必要性についてどう考えるか伺います。

部署の強化や連携により対応したい

町長 今後においては、業務量の多寡に応じその部署を強化、あるいは新たな対応を考慮し、部署間の連携のもと全庁を挙げて取り組んでまいります。

職場機能が発揮されているか十分な対応がされているか

問 今日までの大震災及び原発事故に伴う対応について、各課の業務運営状況、実態を冷静に見つめなおして、このままの組織運営、業務運営の下で、職場機能が発揮されているのか、伺います。

職場機能は十分に発揮されている

町長 職場機能は十分に発揮されていると認識しておりますが、より機能が発揮されるよう、業務に応じ必要な部署については、より強化を図るなど対応して参ります。

除染計画等の担当部署はどうか

問 除染計画の策定、防災計画の見直し、災害援助協定、災害時医療協定、損害賠償問題はこの部署で対応するのか。また、それぞれの進捗状況について伺う。

町長 除染計画の策定、防災計画の見直し、及び災害援助協定については町民生活課で担当しており、現在、関係機関等と協議等を進めております。

災害時医療協定については、健康福祉課で担当しており、昨日、田村医師会と協定の締結を行いました。

また、損害賠償問題について、企業関係は企画商工課、農林業は農林振興課、個人については総務課で行っております。

これからの小野町を どのようにするのか、 町長の決意と方針、 及び方向性について

問 東日本大震災と原発事故を受け、これらの対応や対策について、小野町役場組織機能を十分に発揮して町民の負託に応えるためには、町長の組織運営の手腕が重要であり、いかにマネジメントするか、このことが今発揮されるべきであると思います。

これからの小野町をどのようにするのか、町長の決意と方針、及び方向性をお示しいただきたい。

町民の皆様が おられる安全安心を 感じることが できるよう 一層鋭意努力する

町長 町の責任者は、町民の負託に応え、安全確

保、健康、環境保全に關連する町民サービスをスムーズに提供することが最重要課題であると認識しております。

この目標達成のため、職員を適材適所に配置し、職員の能力を向上させながら効率的な業務を行い、各部署が連携を強化し、この未曾有の難局を乗り切り、町民の皆様がさらなる安全安心を感じることができるよう一層鋭意努力してまいります。



水野 正廣 議員

中学校統合について

小野中学校と浮金中学校の統合について

問 先の定例会において、小野中学校の新校舎整備完了と合わせて統合を目標としているとの答弁をいただきました。

また、教育長より保護者の皆様をはじめ、地域の方々とのコンセンサスを得られるよう取組みを進めてまいりますとのことでした。

「小野町教育環境整備の基本方針」において、小野中学校新校舎整備完了と合わせての統合を目標としていることを承知してまいります。

九月定例会以降の具体的な取組みの経過等については、教育長に答弁いたします。

平成二十四年度の 統合は見送る 教育長

教育長 東日本大震災の影響で被災した小野中のプール改築や周辺整備を引き続き行う予定であり、平成二十四年度の統合は見送ることとしました。

先月下旬に浮金地区の小・中学校並びに浮金つつじ児童園の保護者の皆様と「中学校統合」をテーマに意見交換会を開催しましたが、残念ながらコンセンサスを得ることはできませんでした。

教育委員会としては、子供たちに最良の教育環境を提供するために、保護者の皆様をはじめ、

地域の方々とのコンセンサスが得られるよう、引き続き取組みを進めてまいります。

幼・保教育について

認定こども園について

問 先の定例会において、「小野町教育環境整備の基本方針」において、「認定子ども園」の整備目標を掲げており、建設場所や施設規模、運営面など、整備に向けた具体的な検討を指示したと答弁をいただいたが、どのような具体的な検討を指示したのか。また、指示に対してどのような検討をされたのか、伺います。

町長 多様化している保育ニーズへの対応、就学前教育の充実など、幼保体化した総合施設による子育て支援の充実、必要性を感じており、国の新たな施策も見据えながら調査検討を行っている段階です。

具体的には、建設候補地や施設の規模・内容、優位な財源確保などについて検討を進めています。

廃校利用について

利活用について

問 旧雁股田分校、旧小戸小学校、旧夏井第二小学校の廃校の再利用について、先の定例会において、廃校施設の総合的な利活用に向け、地元意向も踏まえながら具体的な取組みを進め、有効活用を図ってまいりますとの答弁をいただきました。

旧雁股田分校については、当面、公民館の雁股田分館として活用しております。

旧小戸神小学校と旧夏井第二小学校については、地元の皆様のご意見を伺い、庁内関係課による協議の結果、教育財産から普通財産に所管替えを行いました。

旧小戸神小学校と旧夏井第二小学校のその後の取組み状況ですが、昨年度は神奈川県より来町された利用希望者が一件ありましたが、今年度はありません。

千葉県から来町された利用希望者が一件あり、現地の案内等をしたのち、具体的な計画について、当該希望者の回答を待つている状況です。

鶴庭工業用地について

企業立地に向けた 取り組みについて

問 先の定例会において利用目的について伺ったところ、企業立地に向け努力したい、また、県の復興インシジョンの中で、原子力発電に代わる新たな産業の創出に向け、多様な産業の集積や研究拠点の整備が挙げられています。

また、県の復興インシジョンの中で、原子力発電に代わる新たな産業の集積や研究拠点の整備が挙げられています。また、福島県企業立地課、福島県東京事務所との更なる連携を図り、誘致実現に向け努力したい。

法務局跡地について

利活用について

問 先の定例会において、短期的には、緊急時に避難場所として利用できるよう対策を講じたとの答弁をいただいたが、現在のままの整備状態でよいのか伺いたい。



會田 隆壽 議員

中心市街地の活性化に つながるよう検討したい

町長 今後の利活用策については、中心市街地の活性化につながるよう、多くの方からご意見をいただきながら、多種多様な検討をしてまいります。

教育環境整備について

小野中学校完成までの 財源内訳について

問 中学校の進捗状況については、大震災、それから建設についてアクシデントがある中で、皆さまのご健闘により完成が見えてきて、非常に喜んでおります。そこで、中学校完成までの財源の内訳について質問します。

総事業費は 約十七億四千万円

町長 プールの災害復旧事業を除き、敷地造成、校舎、屋内運動場の改築工事費、旧校舎等の解体工事費や各種備品、設計委託料等も含め、総事業費は約十七億四千万円です。

上下水道事業について

水道事業について

問 小野町の水道管の石綿セメント管の割合は依然として高いが、安全で安心な水を供する観点から、石綿セメント管の更新について、費用を含めた全体計画と現在の進捗状況を伺います。

また、いまちだムの水からは放射性セシウムは検出されていない
町長 まず、石綿セメント管の更新について、総延長は一万六千八百二十四メートル、うち、更新済み延長は四千五百六十六メートルであり、更新率は二十七・％です。

合意形成を 図りながら計画を 取りまとめた

町長 統合再編については、保護者をはじめ各地域の方々のご理解と合意形成が何よりも重要と考えておりますので、実施時期や施設整備について、様々なご意見やご要望をお聞きしながら計画を取りまとめてまいります。

現在、三分の一の国庫補助金を受け、更新を行っています。

引き続き、財源確保と公営企業会計の収支バランスを考慮し石綿管の更新を推進してまいります。

次にこまちダムの底質及び水質についてですが、底質からは九月の調査で千七百三十六ケルルの放射性セシウムが検出されましたが、浄水場の原水となる水質からは、放射性物質は検出されておりません。

下水計画について

問 今年度より浄化槽整備事業をスタートしたところであり、全体計画で十年間で千三百基、年間百二十基を掲げているが、現在の状況と将来における財源計画等について、伺います。

本年度は現時点で四十九基

町長 当町の汚水処理人口普及率は平成二十二年未現在で三六・％と県下でも著しく低く、水質保全

生活環境改善、及び公衆衛生の向上を早期に図る実効性の高い生活排水処理に取

り組む必要があるため、本年度より町全域を対象に浄化槽市町村整備推進事業に取り組んだものです。

整備期間を平成二十三年度から十年間とし、汚水処理人口普及率を福島県の整備目標と同等の八六・％、達成に必要な浄化槽の整備数を千三百基としました。

公立小野町地方総合病院の整備について

医師、スタッフを確保し夜間救急の対応をお願いしたい

問 公立小野町地方総合病院について、医師・スタッフを確保し、夜間救急まで対応できるようにお願いしたいところだが、見通しがあれば伺いたい。

町長 現在、二名の常勤医師と二十人余の非常勤

医師と二十人余の非常勤

医師と二十人余の非常勤

整備費用については、概算で建設費用として十五

億二千万円、財源は、国・県補助金三五・五％、受益者分担金二一・三％、下水道事業債が四三・二％と計画しています。

また、一般住宅の五人槽から十人槽までの受益者分担金は二十五万円であり、今年度の進捗状況は、現時点で四十九基であります。

ホールボディー

カウンターについて

問 放射性物質の拡散により健康被害が心配されていますが、各町村での対応は、地元でホールボディーカウンターを設置する所もあれば、民間と協定を結んで実施している所もあります。小野町はどうされるのか伺います。

町長 町民の皆さんが関心を持っており、測定の要望のあることは町としてしっかりと承知しております。

県のホールボディーカウンター等の利活用の検討をはじめ、公立小野町地方総合病院へのホールボディーカウンター設置について、県に強く要望しているところであります。

地元医師会とも連携・協議を行いながら積極的に対応してまいります。

地元医師会とも連携・協議を行いながら積極的に対応してまいります。

除染計画について

中山間地域の住宅、農地、及び森林の除染について

問 中山間地は住宅のそばに森林がある。指標によると住宅から二十メートルまでの森林は除染が必要ということもある。そのことも踏まえて、生活空間、農地、森林の除染の考え方について伺う。

町長 除染計画においては、住宅、学校、保育所、公園、その他の公共施設等、身近な生活環境の除染を優先して実施したい。

身近な生活環境を優先して実施したい

町長 除染計画においては、住宅、学校、保育所、公園、その他の公共施設等、身近な生活環境の除染を優先して実施したい。

農地、森林の除染については、「福島県農林地等除染基本方針」に基づき除染計画を策定するものですが、モニタリング結果を考慮し、実情に沿った効果的な除染計画を策定したい。

議会活動日誌

11月 November

5日～6日

小町ふれあいフェスタ



20日 小町ふれあいフェスタ



7日 企業対策特別委員会 全員協議会

15日 小町ふれあいフェスタ

16日 町村議会議長全国大会 (東京都)

17日 平成23年度福島県市町村教育委員会連絡協議会田村支会 総会(多目的研修集会施設)

18日 月例全員協議会 公立病院との意見交換会

22日 第2回田村地方交通安全大会 (三春町)

23日 町功労者表彰式 (多目的研修集会施設)

25日 地域医療特別委員会

30日 例月出納検査

12月 December

2日 小野町防犯協会定期総会 教育環境対策特別委員会

5日 議会運営委員会 全員協議会

6日 老人作品展表彰式 (多目的研修集会施設)

8日～13日 第4回定例会

19日 小野中学校校舎・屋内運動場竣工式

21日 除染に関する調査会 (多目的研修集会施設) 商工会との懇談会 (多目的研修集会施設)

22日 郡山地方広域消防組合議会 第3回臨時会(郡山市)

26日 例月出納検査 百歳賀寿贈呈式

1月 January

4日 新年交礼会 6日 消防団出初め式



7日 新年交通安全祈願祭 (塩金神社)

8日 成人式 (多目的研修集会施設)

12日 全員協議会 13日 田村地方町議会議長会 (三春町)

15日 小野町建築家具組合総会

22日 小野町議会議員選挙投票日

23日 当選証書付与式 福島県町村議会議長会理事・監事合同会議(福島市)

24日 全員協議会

27日 例月出納検査

笑顔でがんばってまわす!

このページでは、笑顔でがんばる町民のみなさんを紹介します。今回は、「こまち緑愛護会」を紹介します。インタビューには会長の阿部君江さんが応えてくれました。



▲会長の阿部君江さん

どのような活動をしていますか?

小野町の玄関口である、あぶくま高原道路小野インターの公共空地に、クリスマスツツジやチューリップ、マリーゴールド、水仙等の植栽や除草などの緑化活動を行い、次世代に残せる憩いの場づくり、笑顔になれる景観づくりを行っています。

やって良かったと思ったことは?

春に一面のクリスマスツツジがボタン色に咲いたときや、植栽した草花がきれいに咲いたとき、また、秋にそのクリスマスツツジが一面に紅葉したときなど、やって良かったと思います。

また、多くの参加者の皆さんと知り合いになることができたこと、他町村の知人から電話をいただいたりしたときも、やって良かったと思います。



緑化活動中の▶
みなさん



今後の活動の計画や目標は?

クリスマスツツジをもっと元気に育てて、町の玄関口のシンボルとなる様にしたい。

最後にひとこと

いつもたくさんの皆さんにご協力をいただき、大変感謝しておりますが、敷地が広いので、人手が不足しています。時間のある方で協力できる方がいましたら、ぜひ、参加してください。

(インタビューは、議会広報編集委員会が行いました。)

•あとかぎ•

昨年は東日本大震災、合わせて東京電力福島第一原子力発電所の事故など、福島県はもとより我が町においても、多大な被害を及ぼし多方面にわたり様々な問題が発生しました。

復興元年となる今年ではありませんが、議会においても改選があり新しい議会構成が二月二日に発足いたしました。この議会だよりも新たな議会広報編集委員会の編集により発行しております。我々編集委員も新たな気持ちで更なる紙面の充実に向けて頑張つて参ります。

議会と町民の皆様との情報共有の一つの手段として、また町民に開かれた議会の広報の役目として紙面づくりに努めていきたいと考えております。

今後とも皆様のご意見ご要望をよろしく願いたします。

議会広報編集委員長
村上昭正